

第 5 回琴浦町地方創生推進会議（結果）

日時：平成 27 年 8 月 25 日（火）19：00～21：00

場所：本庁舎 防災会議室

1. 参加者	委員 22 人、事務局 4 人、管理職員 8 人
2. 欠席者	井東委員、吉田委員、山本委員
3. 朝倉副会長 あいさつ	推進会議も 5 回目となりますが、各課長もこられていますので、意見交換を行いながら有意義な会になるようよろしくお願いします。
4. 副町長 あいさつ	今日は事前に配らせている資料について、各課の目玉事業について説明させていただきたい。提示している総合戦略全体像（案）は、いろんなことが書いてあるが、委員の皆さんの意見を聞かせていただきブラッシュアップしていけたらと思っている。活発な意見をお願いしたい。
5. 内容	<p>●会長 ○委員 →事務局 ⇒管理職</p> <p>→ 総合戦略全体像（案）の中から、各課から目玉事業として取り組んでいく事業の説明をさせていただく。</p> <p>⇒ 町民生活課 事業番号 20 乳児（0 歳児）家庭保育支援給付事業について説明</p> <p>○ 具体的にどのくらいの金額を想定しているのか。中途半端な金額であれば効果がないのではないかな。</p> <p>⇒ 3 万程度を考えている。保育園に子どもを出すと保育料もかかること、他町での実施状況などを踏まえて検討する。</p> <p>○ 対象者は就労していない方もなるのか。</p> <p>⇒ 基本的には育児休業手当等が出ない方を対象としている。</p> <p>○ 数値目標欄に、家庭保育者の増 5 世帯/年とあるが、毎年町内で 5 世帯増やすのか、それとも事業実施が 5 世帯増か。</p> <p>⇒ 事業実施が 5 世帯という数字である。</p> <p>○ 対象児童は、第一子からか。また、この事業の考え方として、保育士を確保するよりこの事業実施で家庭保育増えたほうが財政的には楽になるのか。</p> <p>⇒ 第一子からを考えている。また、保育園に預けられる経費と比べた場合も給付金のほうが安くなると試算している。</p> <p>○ 他の市町村で実施しているところがあるが、成果などは出ているか。</p> <p>⇒ 今年度からの実施のため、成果までは出ていない。</p> <p>⇒ 企画情報課 事業番号 1,2,3 縁結び・婚活事業の充実について説明</p> <p>○ 昨年、守口門真の商工会議所と交流した際、出会いの場があまりないという問題を同じように抱えられていた。この事業は県内、県外といった地域限定があるのか。そういった県外からの交流を生かした婚活もしてはどうかと思う。</p> <p>⇒ 検討中ではあるが、いろいろなパターンがあり、特定することもあればしない場合も考えられる。参考とさせていただきたい。</p> <p>⇒ 教育総務課 事業番号 36 魅力と特徴を持った学校教育活動（モジュール学習の拡充）について説明</p> <p>○ 保育園の子どもたちに英語教育に取り組むのはどうか。</p> <p>⇒ 本町では ALT を活用しながら英語教育を行っている。保育園においても ALT の活用を検討する。</p> <p>○ 教育に数値目標を定めるのは難しいことかもしれないが、学力テストにおいてランキング上位を目指すという考えはないのか。</p>

- ⇒ 高いところを目指し、琴浦町の将来を担う人材の育成は目標であるが、数字を追いかけることは目標にしていない。
- 現状では琴浦町の学力はどの程度なのか。
- ⇒ 個々の学校については非公表だが、平均より上のレベルにある。
- この事業をなぜ琴浦町でやらなくてはいけないのかが見えない。それならば事業番号 37 ふるさと学習の方が将来もどってくる子供たちも増えてくるのではないかと思う。
- ⇒ ふるさと学習は琴浦町に限らずやっていることであり、現在も実施していることもあり、目玉事業から外している。特徴ある教育活動といえばモジュール学習であると考えている。
- 事業内容にある保護者研修会だが、学齢別とあるが上の子どもに合わせた親の教育になるのか。また教育委員会が主催して行われるのか。
- ⇒ 保育園、小学校、中学校の各年代にあわせた保護者の見守り活動を働きかけるものである。取り組み方としては、保護者の方と共同して取り組んでいきたいと考えている。
- モジュール学習はそれなりに効果があると思うが、琴浦町らしさが見えてこないと思う。先ほどあったように郷土愛を育む学習が、Uターンにつながると思う。

- ⇒ 社会教育課 事業番号 40 ことうらだいすきっず育成事業について説明
- この事業の原型になっていることうら子どもパークとはどういったものか。
- ⇒ もともとは、鳥大と連携してさまざまなものをつくる「ものづくり道場」を発展させたもので、これまでは長期休業を中心とした開催であったが、土曜日の居場所づくりなどと絡め年間を通じて、ことうらだいすきっずとして実施する計画である。
- 数値目標を定めた方が完成度も変わってくるため、具体的な目標を設定してほしい。
また、こういった事業の資金源はなにか。
- ⇒ 町費及び材料代としての参加費で事業実施を行っている。
- この事業は町内の児童だけが対象なのか。
また、どのような募集方法をされているか。
- ⇒ 町内の児童のみを対象としている。また募集については、学校を通してチラシ配布を行っている。
- 学校現場ではチラシ配布は埋もれてしまうので配布をお願いする際に宣伝をお願いしたほうが良い。また、町外の子どもたちも参加できるような仕組みになれば琴浦町に興味を持っていただけるのではないかと思う。

- ⇒ 農林水産課 事業番号 55 畜産クラスター事業を説明
- 数値目標 6 万トンは大山乳業全体の数値か、この事業で新たに増加する数値か。
- ⇒ 大山乳業全体の数字である。現在は約 5.6 万トンあり、0.4 万トン増加する目標数値である。
- 大山乳業の 6 万トンという数字は、大部分が琴浦町で占めているのか。
- ⇒ 大山乳業のほとんどが琴浦町で生産されたものである。
- この事業をすることによって町から補助金があるのか。また、この事業計画の年数はどれくらいを計画しているのか。今後 TPP といった農業を取り巻く環境の変化について検討は行われたか。
- ⇒ 中心的になる経営体となる農家、新規就農者に補助する計画である。畜産クラスターの協議会があり、その計画に基づいて実施していくことになるので、5 ヶ年である。

- 高齢化により後継者が不足していることから対策を考えているようだが、この事業によってそれらの問題が解決できるか。
- ⇒ 儲かる農業でなければ後継者の確保は困難であるため、機械整備等により効率化や生産性を高め、高収益型の経営を目指すことが狙いである。
- ⇒ 商工観光課 事業番号 90 物産館こどうらの周辺整備について説明
- 物産館のトイレが、港や山といったすばらしい景色が見られる場所にあるためもったいない。トイレの場所を変更することもあわせて検討していただきたい。
- また、駐車場から物産館への距離が遠いため、買い物客や障がい者の方にとって使いづらいものとなっている。
- ⇒ 物産館の建物から道路側はすべて国交省の土地であり、先ほど言われた前の広場については、道の駅化にあわせ改善していくこととしている。
- 9号線から高規格道路へのアクセスは建設当時国交省が許可しなかったという話を聞いたことがあるが、今回の周辺整備において、どの程度国交省と話が進んでいるか。
- ⇒ 国交省の土地に隣り合わせの形で物産館を作ったため現在のようになっている。8月上旬に道の駅の会議でプレゼンを行った。引き続き道の駅となるよう働きかけていく。
- 北栄町では、お台場・コナン館のあたりにインターを作るという話を聞いた。新たにインターができれば客の流れも変わってくるため、早期実現していただきたい。
- この KPI の設定は何か根拠があつての数字か。この事業に関わらず、国が示したビッグデータを活用してほしい。
- ⇒ 平成 23 年から 26 年にかけて、入れ込み客が 4 割増加した。これには出雲大社の遷宮や高規格道路の開通があるが、4 割とまではいかないまでも、年間 5% 程度の増加を目指して今後取り組んでいきたいと考えている。
- 山陰道沿線の道の駅は、宍道湖しかなく、他に比べ大きなメリットとなる。それらを生かしながらまちづくりができるよう是非実現させていただきたい。
- ⇒ 総務課 事業番号 96 自治会活動支援事業について説明
- 部落活動を点数化するということか。
- ⇒ 現在は一律で交付しているが、がんばる集落に手厚く交付されるよう検討している。また、敬老会の開催助成など各課にまたがり単町の補助金をこの活動支援事業に集約していきたい。
- ⇒ 健康対策課 事業番号 143 健康寿命日本一事業について説明
- 健康寿命の伸び率はどれくらいか。
- ⇒ 健康寿命については国及び県は把握しているが市町村単位では公表されていない。このたびの総合戦略において、県が健康寿命を伸ばす取り組みを進めていくことになっており、それにあわせ市町村単位での公表をお願いしている。
- 全国の健康寿命の伸び率はどうか。
- ⇒ 正確な数字は今わからないが、少しずつ伸びてきている。
- 健康寿命を伸ばすのは重要なことだが、琴浦町は認知症予防の取り組みが評価されておりそれが強みであるが、それらを生かした取り組みのほうがりわかりやすいのではないか。
- ⇒ 健康対策課として健康づくりという観点から事業検討を行ってきた。
- ⇒ 福祉課のほうで認知症予防については事業化しており、連携しながら健康寿命を伸ばしていくこととしている。

- 琴浦町には、光好ゴルフクラブがあるので、そういったレジャーを組み込んで取り組みを進めていってはどうか。
- ⇒ 光好ゴルフクラブとは、健康ポイントラリー制度で連携している。ゴルフクラブに限らず、健康ポイントラリー制度で日々の運動習慣について取り組んでいきたい。
- 若い方が参加できるような仕組みをつくってほしい。他の町ではスマートフォンの万歩計機能を使ってポイントを付与し、飲食店で使えるなどの制度を作っているところもある。高齢者だけでなく幅広い方を対象としたものにしていただきたい。
- ⇒ 年代を広げた取り組みは必要であると考えており検討していく。
- ⇒ 福祉課 事業番号 145、146 各年代ごとの介護予防事業について説明
- 新わくわくことうら体操はどのような形で普及や習慣化される取り組みをされているか。
- ⇒ 新わくわくことうら体操は、皆さんが知っておられる歌謡曲にあわせて踊れるよう鳥大の先生に考案していただき、普及員を 30 名程度養成したところで、介護事業所やサークル活動、検診の結果説明会などで体操の普及を図っている。今後は普及員と協議しながら取り組みを進めていきたい。
- 検診に肌年齢測定などちょっとしたオプションをつければ参加される方が増えてくるので、そういったことも検討してほしい。
- ⇒ 全体を通して質問・意見があればお願いしたい。
- 今日の資料がこの先どのように進んでいくのか。また、今日検討した事業は予算的には地方創生の補助金で実施するのか。それぞれのかの施策が項目ごとに分けてある感じがしており、トータルとしての総合戦略としてわかりにくいところがある。
- ⇒ 今日いただいた意見を踏まえ、琴浦町総合戦略（案）を作成し、9月にパブリックコメントの実施を考えている。
予算については、国の予算が補助金ベースで 2 千万円程度と予測されているので、総合戦略に記載した事業すべてを交付金で実施することは困難であると考えている。
今回は時間の関係上ひとつしか説明できなかったが、人口増とつながるような取り組みについては事業化していると考えている。
- ⇒ 今日の資料は表であるが、総合戦略には言葉に置き換えて再度委員に提示したい。そのときに琴浦らしさを考えながら総合戦略を策定していく、予算化していく予定である。
- 事業番号 122 若者向け住宅の整備の欄に×があるが、これはやらないということか。122 は推進会議でも出た意見でもある。
- ⇒ ×印は、総合戦略に記載せず、一般財源で実施するものや引き続き検討を行っていくものに印をつけている。事業番号 122 に関しては、若者を対象とする新たな住宅を新規に整備する財源もないため、コーポラスなど既設の住宅を若者向けに貸し出す事業内容とした。新規住宅は整備しないため×印をつけている。
- 推進会議で出された事業を、実施しないと判断したのは誰がしたのか。
- ⇒ 各課で検討を行い、管理職で構成される地方創成推進本部で決定した。
- これだけの人数が何回も集まって議論したことは結局役場内部の判断で変わってしまうということか。
- ⇒ 推進会議ではさまざまな意見が出たが、それらの意見についてはできる限り反映されるよう内容検討を行った。住宅整備に関していえば、町内には町営

	<p>住宅がたくさんあり、これ以上の整備は財政的負担も大きくなることから今回の戦略から外したが、コーポラスの家賃低廉化は検討することとした。</p> <p>○ 目玉事業は、総合戦略の中でどういう位置づけになるのか。特に力を入れるものとしてピックアップしたものか。また、総合戦略の中で求められる人口減対策として、直接的な対策があまりないように感じるが、人口増に直結するようなことは町として行わない方針であるのか。</p> <p>⇒ 琴浦町が取り組んでいく重点項目として、4つのテーマがあり、それらの枝葉部分として今日提示させていただいた事業を実施していく考えである。時間の関係上すべての事業を説明することができなかったが、人口増のために必要であると推進会議などで考えられたことはほとんど掲載していると考えている。</p> <p>● 最近の推進会議は細部について協議しているので、再度全体像とあわせて提示していただきたい。</p> <p>⇒ 次回は、人口ビジョン（案）、総合戦略（案）という形で、全体と細部合わせて委員に提示する。</p>
	次回は、9月15日（火）午後7時から